

しんらん同人

No,548

1・2

月号



私の願い。 お同行の皆様の願い。 全てを包み込んだ仏様の願い。

浄土真宗本願寺派 誓願寺

〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-3-8

【電話】03-3950-7828 【ホームページ】<http://www.seiganji-tokyo.jp/>

われもひかりのうちにあり

誓願寺住職 古賀尚之

明けましておめでとうございます。

今年も皆様にとりましてよき一年でありますことを思いつつ、御恩報謝の生活を送りたいものであります。

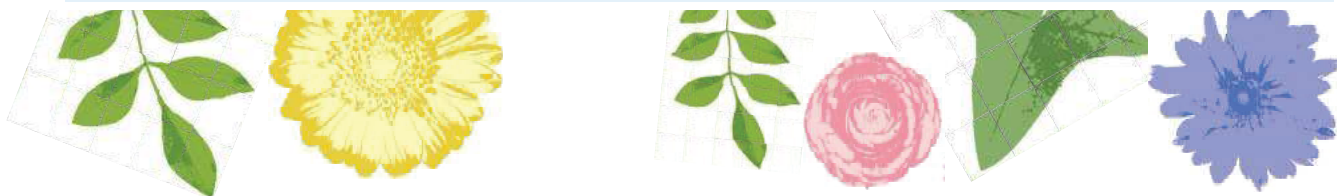
「仏法を学ぶ事において、お寺の内側から学ぶことと、外から学ぶことも同じだよ。」という言葉に動かされて、責任の重さをあまり考えることなく上京して以来、六度目のお正月を無事迎えることが出来ました。お同行はじめ皆様のお陰と感謝いたしております。

正しく伝える事が出来ているか、常に振り返っている私です。

こうした中、平成三十年十一月の大谷光淳御門主の「親教」を拝読する機会があり、わだかまりが一つ消えた思いでした。

次のページに「親教」の概要と「私たちのちかい」を転載いたします。





「私たちのちかい」

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

- 一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

私たちは、縁起や諸行無常というお釈迦様がさとられたこの世のありのままの真実に気づくことが出来ず、常に自己中心の心で物事を捉え、その結果として悩み苦しんだり、また、他人と争ったりしています。

阿弥陀如来は、このような煩惱具足の私を悲しまれ、そのままに救い取ろうと願われて働き続けて下さっています。

この私のために願われた阿弥陀様のお慈悲をいただいたならば、凡夫だから「なにもし出来ない」「何もしない」あるいは「何をしてもよい」というような姿勢とはおおよそかけ離れた、すなわち、少しでもお心になうよう身を慎み、言葉を慎んで、ひとの苦しみや喜びを、自らの苦しみや喜びとするような人間につくり変えられていくのです。

そしてこのことが、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現のための大きな一歩となるのです。

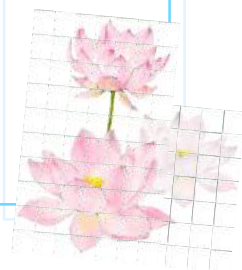
これらのことを踏まえ、この「念仏者の生き方」をまとめました。

合掌



誓願寺初代住職 岡本泰雄 法話

真宗念仏者の生活



如来の救済には条件はない。人間の善悪や、賢愚や、身分のよしあしを問題とせず、ただ、如来の本願を信じ念仏申すばかりで救済にあづかるのである。

如来は、迷える我を救わんがために、南無阿弥陀仏を成就したもうたのである。この廣大無辺の大慈悲に抱かれる安心を得た者が念仏者である。

光り限りなく、命限りなき浄土に生まれる身とならしめられるには、道徳や修養は問題にならない。しかし、念仏者は、如来の慈悲に生かされた身であるから、自らその生活も正され、美しく莊嚴されていくのである。

真実信心の念仏者は「せねばならない」という義務感ではなく「せずにはおれない」という報謝の行いとして生活が行われてゆくのである。

念仏者といっても一律ではない。そのいただく信は一つであつて、だれの信も変わりはないが、その業はみんな違うのであるから、報謝行のあらわれも各々違った形であらわれることである。だから、念仏者であればかくあるべしと決められるものではないが、こんな形であらわれるであろうことを、ここで記してみ

たい。

念仏者は、南無阿弥陀仏の行者である。南無とは、すべてをおまかせして安心すること、阿弥陀とは無量・無限ということ。量り知れない光（智慧）と寿（慈悲）の仏に全托して安心する者が、念仏者であるから、その念仏者は、無限の光に照らされ無限の慈悲に抱かれる身である。

その光にあうから

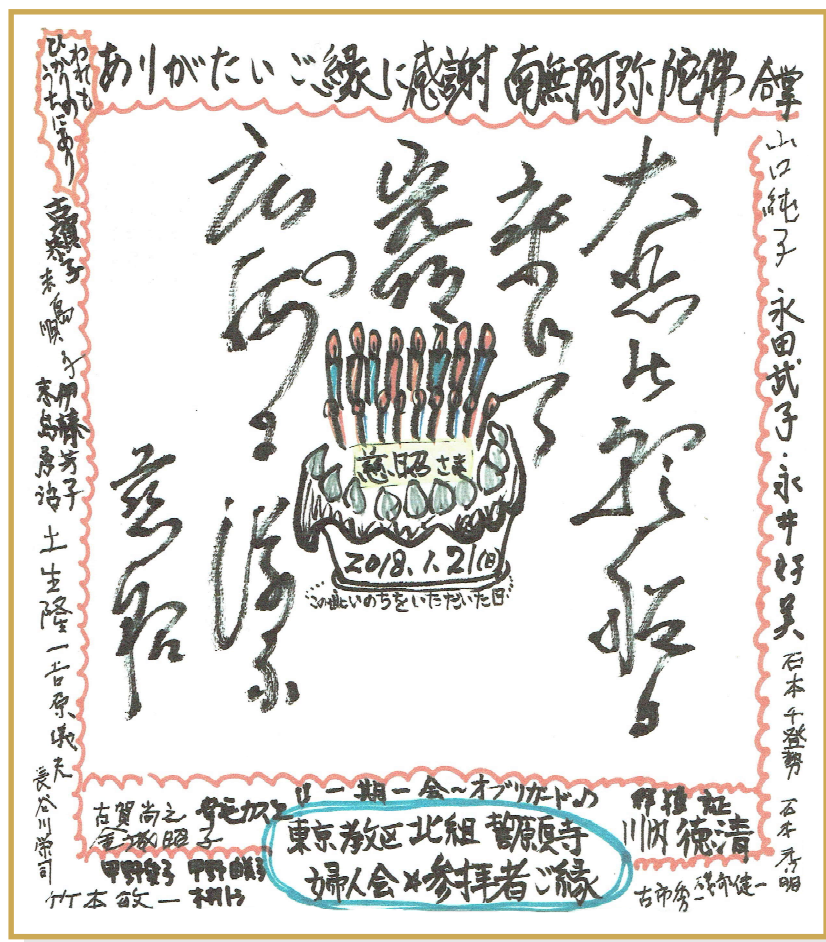
- 一・ 自己反省の心が深くなる。
- 一・ 他人を責めないで、自己の責任を感じる。
- 一・ いつまでも愚痴をいわない。宿業に気づかせられる。
- 一・ 如来は、我を見通されていると知る。

限らない慈悲をいただくから

- 一・ ご恩を有難く思う。
- 一・ 思いやりの心が深くなる。
- 一・ いのちの尊さを思う。
- 一・ ひとりいても、幸せを喜ぶ気持ちから、お陰様でと感謝しご恩に報いる行動をとる。

この喜びは今、摂取の光りの中であり、やがて安養のお浄土に参らせていただくという安心から生まれるものである。

真宗の念仏者たること！ 何という幸せの身であろうか。



「大悲の願船に乗じて光明の広海に浮ぶ」



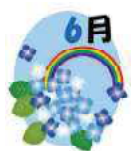
二〇一八年一月のご法座のあと、高田先生の八十九歳のお誕生日をお同行と一緒に祝いました。

その時、先生の大好きな言葉を書いていただき、皆で寄せ書きをした色紙です。

出講先での思いもかけない誕生会。嬉しそうに、そして恥ずかしそうにロウソクの灯を吹き消されたおすがたが目に残っています。

誓願寺坊守 古賀恭子

誓願寺 平成31年 年間ご法座のご案内



6月 23日 (日)	6月 9日 (日)
13時 定例法座	10時 定例法座



5月 26日 (日)	5月 12日 (日)
13時 永代経法要	10時 定例法座



4月 28日 (日)	4月 14日 (日)
13時 定例法座	10時 花まつり



3月 24日 (日)	3月 10日 (日)
13時 彼岸会法要	10時 定例法座



2月 24日 (日)	2月 10日 (日)
13時 定例法座	10時 定例法座



1月 27日 (日)	1月 13日 (日)	1月 1日 (火)
13時 新春特別法座	10時 定例法座	13時 年頭法座



12月 31日 (火)	12月 22日 (日)	12月 8日 (日)
24時 除夜会	13時 定例法座	10時 定例法座



11月 24日 (日)	11月 10日 (日)
13時 報恩講法要	10時 定例法座



10月 27日 (日)	10月 13日 (日)
13時 定例法座	10時 定例法座



9月 22日 (日)	9月 8日 (日)
13時 彼岸会法要	10時 婦人会追悼法要



8月 25日 (日)	8月 11日 (日)
13時 定例法座	10時 定例法座



7月 28日 (日)	7月 14日 (日)
13時 定例法座	10時 お盆法要

【ご法座等のご案内】

1月

1・1
(火)

■午後一時

年頭法座 【古賀住職】

1・13
(日)

■午前十時

定例法座 【岡本信之師】

■正午

医療相談 【佐藤公彦医師】

1・20
(日)

■午前十時

なかよしクラブ
(乳幼児から小学生まで)1・27
(日)

■午後一時

新春特別法座・祥月命日合同法要
【大野孝顕師】

2月

2・10
(日)

■午前十時

定例法座 【川茂唯順師】

■正午

医療相談 【佐藤公彦医師】

2・17
(日)

■午前十時

なかよしクラブ
(乳幼児から小学生まで)2・24
(日)

■午後一時

定例法座・祥月命日合同法要
【山本摂叡師】

編集後記

・新しい年を迎えるにあたり、来た年を振り返ると、八月・高田師のご逝去は、私達に多くのことをお示しになられました。この事をどのように受け止めるのか、悲しいけれども有難い事であります。

・九月・念願の佐渡の同行を、お尋ねすることが出来ました。初めての佐渡でしたが、穏やかな時の流れを満喫いたしました。

・十一月・坊守空を飛ぶ！ 栃木県的那須高原でパラグライダー体験。坊守の念願が果たされました。大変楽しかったそうです。一方、住職は下で見ているだけです。

・「在職談」お金を払って危険な思いをする人の気持ちがわかりません。十二月・久し振りに「干し柿づくり」をしました。五回にわたり約二百個以上作り楽しんでいきます。



[干し柿づくり]



[華麗に(?)空を飛ぶ坊守]

